

 先月の活動 (1月)

日本語教室 1/10(M), 17, 31 (3回)
 1/24(土) オリーブ・新年会イベント
 1/31(土) KIFA やさしい日本語講座 (内田栄)

 今月の活動 (2月)

日本語教室 2/7(M), 14, 28, (3回)
 2/9(月) パーティー係会議
 2/14(土) パーティー係会議

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略

 参加人数(1月)

	1/10	1/17	1/24	1/31
学習者	21	21	16	11
スタッフ	23	18	22	15

 会員の動き(1月)

〈入会〉なし
 〈休会〉なし
 〈退会〉なし
 〈賛助会員〉なし

「やさしい日本語講座」に出してきました

KIFA (草津市国際交流協会)と草津市まちづくり協働課共催の『やさしい日本語』講座に行ってきました。

「やさしい日本語」とは、難しい単語や用語、表現を使わずに外国人にもわかりやすく表現する日本語ですが、外国人だけでなく、小さな子どもや高齢者、障害のある人など、にでも伝わりやすい日本語でもあります。

「やさしい日本語」についてはこれまでも読んだり講演を聞いたりしたことがあってわかったつもりになっていましたが、いざ実践ワークをしてみると、思ったより難しい…!

「あれ? 『ピーフン』と『フォー』の違いって…?」

「『災害』を短いことばで簡単に言うと…?」

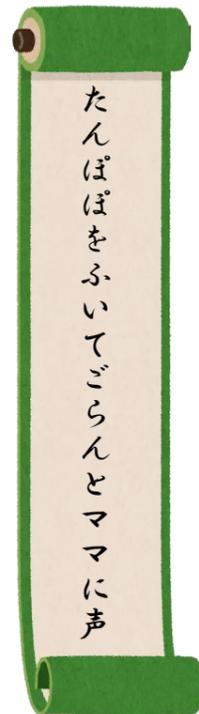
普段いかに適当にことばを口にしているのかを実感しました。

やさしい日本語に言い換えるには、「はっきり言う」「最後まで言う」「短く言う」の

「はさみの法則」を意識するだけでなく、ふだん何気なく使っていることばの意味を正確に把握したり、伝えたいことを的確にまとめる練習が必要です。

講座でも行った「やさしい日本語3文クッキング」という、あることばを「やさしい日本語」の3つの短い文で説明して当ててもらおうゲームは、ことばの意味を再確認して言い換える良い練習になりました。

「やさしい日本語3文クッキング」で検索すると短い動画が出てきますので、是非一度やってみてください。



ケンジさんの俳句二月(如月) 中村健浩

編集後記: 1月は新年会イベントがあり、普段とは違う生徒さんの笑顔を見ることが出来ました。福笑いも、言葉づくりゲームもとても盛り上がり、楽しいひと時でした。「寒い」日々もまもなく終わると思います。春は何をしましょうか? (中溝)



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>

2026年
2月号
2026. 2. 28 発行
第286号

あたらしい なかま を しょうかいします
(1月入会)



ヨガ ドウイ イラワン
(インドネシア)

☆ 祝! 日本語試験合格者 ☆

- N3 チュプラ・イリーナ (ウクライナ)
- N2 グエン・クアン・ミン (ベトナム)
- N2 ブエン・ゴック・チャム (ベトナム)
- N2 ニン・ナンダーエイ (ミャンマー)
- N2 グエン・バン・ダイ (ベトナム)

おめでとうございます。
 これからもオリーブで楽しく勉強しましょう。

中川先生のへんてこ日本語 184

初物づくし

年が明けると、初日の出、初詣、初夢、初売り、初競り、初観音、初弘法…と、「初物づくし」に忙しくなる。層に依らなくとも、初節句、初出勤、初孫、初出場、初参加…など、日本では、初物を愛でて祝う慣習がある。初物好きの日本人は、とかく新しいものに心を奪われる。日本初、今季初、当店初。本邦初…(はつ)など、いつになっても好奇心旺盛である。書き初め、出初め、食い初め、引き初め、渡り初め…(しよ)でも、初物を祝う。初回限定、初心、初診、初出…(しよ)にも、「はじめて」であることに、特別の手続きが必要となったり、特別のサービスを受けたりすることができる。同じ「はじめて」を表すにも、これだけ漢字の読み方が異なると、日本語学習者にはもはやお手上げである。加えて、初めまして、初めて…のように、「はじめて」という読み方もある。初産、初陣…(うい)となると、日本人でもなかなか読んでくれない。日本人ならなぜこれが読めるのか。まず言葉として知っているの、のちに漢字を見ても適切に読めるのではないかと思われる。「1月2日に書きはじめをしました。」と正月の思い出を語った中国の学生がいたが、漢字の意味は解っていても、「しよめ」という言葉が知らなかったために生じた間違いである。逆に言葉は知っていても、いざ漢字で書けと言われると、読むことはできても書けないことも多い。前述の「わたりぞめ」や「ういじん」などは、言葉の意味が状況として思い浮かばなければ、漢字で表記するのは難しいだろう。初物を愛でる日本だからこそ、楽しく豊かな生活ができるのだろうか。

国際教育企画顧問 中川良雄

新年の楽しいイベント



(カメラ係 中溝)

1/24、オーブで新年の交流会イベントが行われました。
この日の為に、スタッフ一同、楽しい企画を盛り上げるべく、準備しましたよ～。
生徒さんに今年、それぞれの目標と挑戦したいことを発表してもらいました。
「にほんごをがんばりたい」「北海道に行きたい」「じむ がんばります」「しごとをがんばる US」にいきたい」等、楽しそうなことが書かれており、見ているこちらにも楽しくなりました。

盛り上がったのが【ことばあそび】と【福笑い】です。
【ことばあそび】では、知らない人でも気にせず、目的の言葉を作るのに話かけられるので、良いコミュニケーションができますね。例えば、一人参加であっても関係なく楽しめる。言葉を考えるのも楽しい。
ひらがなをたくさん使う言葉には「れいぞうこ」とかありました。現在ならではなのは「すまほ」とかですかね。
【福笑い】単純な遊びで、正直どこまで盛り上がるかな？ と思っていましたが、予想を超えて受けました。
何度でもできる。でも、都度違う仕上がりになる。やり方によってまだまだポテンシャルのある遊びだな、と改めて感じいった次第。



最後には皆で記念写真を撮り、福井さんお手製のかわいいお菓子とミカンのお土産付きで、無事に終了しました。
企画班、司会進行役、ほか皆さんの協力もあって、良い日だったと思います。
生徒さんも楽しんでくれてなによりです。
今後も折々に生徒さんが楽しめることをしていきたいですね。



わたしの地元 #4 大津市は歴史のまち 八田真実

滋賀県大津市は、日本の歴史と共にある都市です。過去、大津市に日本の都があったことをご存じでしょうか。約1350年前、天智天皇により遷都された「大津京」（近江大津宮）。残念ながら5年後の壬申の乱で滅びた短命の都です。この天智天皇を御祭神としているのが「近江神宮」で大津京跡付近にあります。こう書くと古い神社のようですが、実は昭和15年に皇紀2600年記念事業の一環として創建された比較的新しい神社です。

近江神宮には、天智天皇が作られた漏刻（ろうこく：水時計）や日時計が設置されています。また、百人一首かるた名人戦でも知られ、競技かるたの聖地として有名です。映画「ちはやぶる」のロケ地でもあります。
そのほかにも比叡山延暦寺や石山寺、坂本城など歴史に出てくる名所が数えきれないほど多くあります。現在もなお、いろいろな遺跡が発見されています。日本の歴史を感じ取れるとっても趣深い都市なのです。
また、みなさんがよく知ることわざ「急がば回れ」も大津が深く関わっています。



室町時代の連歌師・宗長が詠んだ和歌
『もののふの 矢橋の船は 速けれど 急がば回れ 瀬田の長橋』
この“瀬田の長橋”が現在の瀬田の唐橋のことで、大津にあります。

矢橋（草津市）からの渡し舟は早いけれど危険、一方、瀬田（大津市）の唐橋は、遠回りだけど安全な陸路ということです。
このように、古（いにしえ）を感じられる都市「おおつ」でみなさんも散策を楽しんではいかがでしょうか。春には、桜が咲く琵琶湖疎水の遊覧もおすすめです。



